

病気でも働き続けてほしい

— 働きたい人の気持ちを応援したい。

山口県地域両立支援推進チーム

労働者が、がん等の病気になってしまった時、無理なく働き続けてもらうためには、どうすれば良いのだろうか・・・。



最近では、がん等の病気になっても、治療技術の進歩等により治療をしながら働き続ける人が増えています。

しかし、事業場において治療に対する配慮や適切な措置がなければ、労働者が治療と両立して働き続けることは難しくなってしまいます。

治療と仕事の両立支援とは？

回復・継続して治療を行う必要がある疾病を負った労働者、または疾病のある労働者の、治療と仕事の両立を支援するために、企業が一定の就業上の措置を行うことをいいます。

措置の例

休暇制度：時間単位の年次有給休暇、傷病休暇・病気休暇（取得条件や取得中の処遇（賃金の支払いの有無等）は問わない）など
勤務制度：フレックスタイム制度、時差出勤制度、短時間勤務制度、在宅勤務（テレワーク）、試し出勤制度 など

治療と仕事の両立支援の大切さ

疾病を抱える労働者が、業務によって疾病が悪化することがないように、治療と仕事の両立のために必要となる、一定の就業上の措置や治療に対する配慮を行うことは、「**労働者の健康確保対策**」として位置づけられます。さらに、事業者にとっては、継続的な人材の確保とともに、労働者のモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上なども期待できます。

両立支援制度の導入に向けて

「事業場における治療と仕事の両立支援のための**ガイドライン**」

両立支援制度の導入に向けて活用できる制度

・山口産業保健総合支援センターの「両立支援促進員」による各種**無料支援**

両立支援コーディネーターについて

- 両立支援コーディネーターは、支援対象者が治療と仕事を両立できるよう、それぞれの立場（企業、医療機関、産業保健総合支援センターなどの支援機関）に応じた支援の実施、両立支援に関わる関係者との調整を行います。

独立行政法人 労働者健康安全機構が、両立支援コーディネーター養成のための研修を無料で実施しています。

ホームページ <https://www.johas.go.jp>

両立支援コーディネーターで 🔍 検索

使ってみませんか「治療と仕事の両立支援連絡帳」

治療をしながら仕事も続けていくために医療機関と職場とをつなぐ「治療と仕事の両立支援連絡帳」を使ってみませんか。治療と仕事の両立支援連絡帳は下記 URL で入手できます。印刷する場合には設定を両面印刷の短編とじとしてください。

QR コード



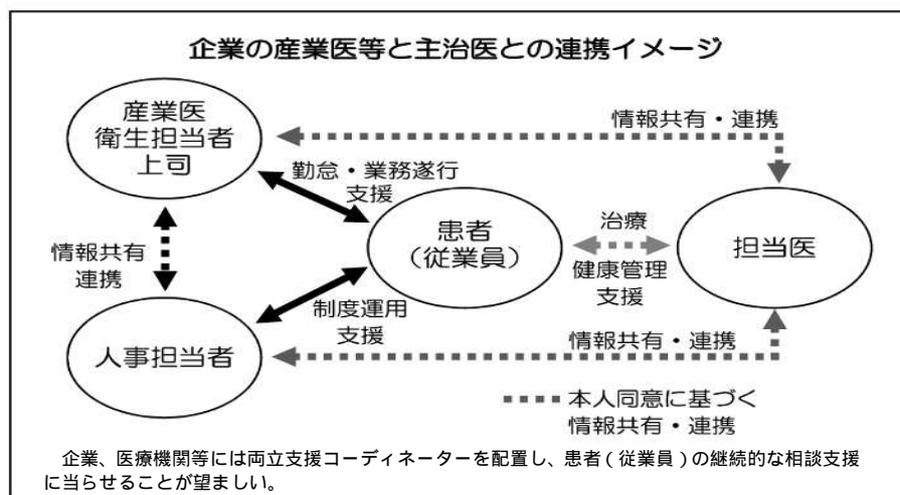
https://jsite.mhlw.go.jp/yamaguchi-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anken_eisei/chiryu_shigoto.html

治療と仕事の 両立支援連絡帳

治療と仕事の
両立支援



山口県地域両立支援推進チーム



山口県地域両立支援推進チームは、治療と仕事の両立支援を効果的に進めるため、山口県内の関係団体がネットワークを構築し、既に行われている両立支援に係る取組を効果的に連携させ、両立支援の取組の推進を図ることを目的に設置されたものです。

構成メンバー（50音順）

日本労働組合総連合会 山口県連合会、特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 中国・四国支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 中国支部、一般社団法人山口県医師会

山口県医療ソーシャルワーカー協会、山口県がん診療連携協議会 相談支援部会

山口県経営者協会、山口県（健康福祉部 医療政策課・健康増進課、産業労働部 労働政策課）

山口県社会保険労務士会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、一般社団法人山口県労働基準協会

独立行政法人労働者健康安全機構（山口産業保健総合支援センター、山口労災病院）

山口労働局（雇用環境・均等室、職業安定部 職業安定課・職業対策課）

事務局 山口労働局 労働基準部 健康安全課

083-995-0373